

鳥取県未来人材育成基金 の活用状況

未来人材育成基金に対する寄附件数・金額

鳥取県の産業人材確保のため、企業のみなさまから

125社 70,790,000円 の寄附をいただきました。

(令和5年3月31日現在)

ご支援をいただきました企業のみなさまに、
心から感謝いたします。



基金の活用状況

鳥取県では、いただきました寄附を活用し、**約10.3億円**の鳥取県未来人材育成基金を積み立てました。

- ・平成27年度制度開始から令和5年3月末までに
支給対象者認定した方（在学生含む） **1,100名**
うち、県内対象業種に就職された方 **713名**
今後、8年間に分けて助成金を支給していきます
- ・業種別就職者数
製造業 199名、IT企業 125名、薬剤師 77名
建設業 90名、建設コンサルタント業 60名、旅館ホテル業 14名
保育士・幼稚園教諭 92名（平成29年度より対象業種に追加しました。）
農林水産業 56名（平成30年度より対象業種に追加しました。）



今後も、基金を活用し、鳥取県の産業人材の確保とIJUターンの促進に取り組んでまいりますので、応援していただきますようお願いいたします。



【お問い合わせ先】

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220

鳥取県 交流人口拡大本部 ふるさと人口政策課

電話 0857-26-7648 ファクシミリ 0857-26-8196 電子メール jinkouseisaku@pref.tottori.lg.jp

スマートフォンアプリ「とりふる」を活用した学生等への情報発信事業について

令和5年7月 鳥取県

ご支援いただきました寄附金を基に、若者の県内企業への就職に向けた支援事業を実施させていただきました。

スマートフォンアプリ「とりふる」を活用した学生等への情報発信

- ・学生等に対し本県とのつながりを持ち続けてもらい、将来的な県内就職につなげるため、就活情報やふるさと情報等を配信するスマートフォンアプリ「とりふる」を令和2年2月1日に運用開始。
- ・教育委員会と連携した高校在学時の登録促進や、「#よきよき鳥取」仕送り便事業等による大学生等へのキャンペーンにより、登録者数は1万人を突破。(R5.4時点:約18,600人)
- ・登録者の属性としては、10～20代の若者が77.2%と最も多く、登録者の81.4%が本県出身者であることから、県外進学者含む若者等へ継続的に本県の情報を届けるツールとなりつつある。(R4.4調査時点)
- ・利用者アンケート(自由記載)の結果、就活関連情報が役立っているとの意見が多く、またふるさと情報が継続的に届いて嬉しいとの声も寄せられている。
- ・この「とりふる」を活用した情報提供等を行い、更なる学生等の県内就職促進を行ってまいります。

<R4年度の事業内容>

・とりふるが鳥取県とつながりを持つ高校、大学生を中心とした若者にある程度浸透してきたことから、県の他施策との更なる連携を促進するとともに情報発信機能の強化を図る。

①学生ボランティア情報、SDGs活動にかかる情報発信機能の追加

②とりふるを活用した就活の体験談を発信する「県内就職おめでとうキャンペーン」の実施

<「とりふる」概要>

(1)掲載情報

- お知らせ：県や市町村等のお知らせ(週1～2回程度配信)
(主な内容：就活イベント情報、若者情報誌の更新、仕送り便等の学生支援情報、利用者アンケート等)
- お得な情報：未来人材奨学金支援制度、市町村の学生支援の取組等
- イベント：就活・移住・交流イベント情報
- はたらく：県内企業情報、インターシップ情報、活躍する若者情報等
- たのしむ：グルメ・観光情報等
- くらす：鳥取暮らし魅力動画、子育て支援情報等
- つながる：都市圏での若者交流会情報、SNS等

(2)登録促進策

(ア)対象者に応じた登録促進

- 高校生：ふるさと鳥取県定住機構コーディネーターによる学校訪問、卒業式での知事メッセージ配付
- 大学生：新入生の入学説明会、就活関係フェアや県内外大学での就活交流会での登録促進、仕送り便事業の実施等
- 既卒者：県外の移住・交流・就職イベント等での登録促進
- 保護者：高校の保護者会等での登録促進

(イ)特典ポイントの付与

- アプリ利用に応じて電子マネー等に交換できる特典ポイントを付与
(交換先：WAON、アマゾンギフトポイント、QUOカードペイ)

<ポイント取得方法>

- ・アプリ登録時(学生のみ)：500ポイント(500円相当)
- ・イベント等参加時：300ポイント(300円相当)

<ポイント対象イベント>

- ・就職、移住、等、県内就職や関係人口の拡大につながるもの

<アプリ画面>



- ◆ 企業版ふるさと納税を通じて、鳥取県の取組に御賛同いただきありがとうございました。
- ◆ 頂いた御寄附を活用し、観光PRイベントの実施・参加やメディア媒体を活用した情報発信などに取り組みました。

<実施結果概要>

1 主な観光PRイベント等

(1) 鳥取県観光物産展での観光PRの実施

- ①実施日: 令和4年4月23日(土)・24日(日)
- ②場 所: 新名神高速道路 宝塚北サービスエリア(宝塚市)
- ③主 催: 西日本高速道路サービス・ホールディングス(株) 関西支社
- ④概 要: (公社)鳥取県観光連盟、境港市、岩美町観光協会とともに参加。観光パンフレットの配布などでゴールデンウィークや夏に向けた観光情報や自然豊かな鳥取県のイメージ発信を行った。

(2) 鳥取すいか販売促進及び鳥取県観光PRの実施

- ①実施日: 令和4年6月11日(土)～12日(日)
- ②場 所: 新名神高速道路 宝塚北サービスエリア(宝塚市)
- ③主 催: 関西本部
- ④概 要: 鳥取すいかや県産品の販売、夏に向けた観光情報や県内の高速道路開通情報などのPRを行った。

(3) まるごととっとり夏あそび in 大阪 2022 の開催

- ①実施日: 令和4年6月25日(土)
- ②場 所: 三井アウトレットパーク大阪鶴見(大阪市鶴見区)
- ③主 催: 関西本部、週刊大阪日日新聞社 特別後援: 新日本海新聞社大阪本社
- ④参加者: 鳥取市、米子市観光協会、岩美町観光協会、若桜町観光協会、JA全農とっとり、(一社)鳥取県物産協会、(公社)鳥取県観光連盟、鳥取砂丘アクティビティ協会、我龍天晴(しゃんしゃん傘踊り)
- ⑤概 要: 県内観光団体と連携し、ファミリー層をターゲットとした観光PRイベントを実施した。観光パンフレットの配布やステージイベントの実施によって夏休みに向けた鳥取県への観光需要を掘り起こしたほか、鳥取すいかや県産品の販売を行った。

(4) 鳥取県地域物産展での観光PRの実施

- ①実施日: 令和4年7月2日(土)～3日(日)
- ②場 所: 中国自動車道 加西サービスエリア上り線(加西市)
- ③主 催: 西日本高速道路サービス・ホールディングス(株) 関西支社
- ④概 要: (公社)鳥取県観光連盟と連携し、観光パンフレットの配布やミニゲームの実施などで夏に向けた観光情報や自然豊かな鳥取県のイメージ発信を行った。

(5) 大阪・関西万博開催 1000 日前記念 大阪ミナミ夏祭り 2022 への出展

- ①実施日: 令和4年7月16日(土)～17日(日)
- ②場 所: 道頓堀川リバーウォーク(大阪市中央区)
- ③主 催: (一社)大阪活性化事業実行委員会
- ④概 要: (一社)鳥取県物産協会と連携し、県産品の販売及び観光PRを行った。

(6) 王寺町鉄道フェスティバル 2022 での観光PRの実施

- ①実施日: 令和4年10月15日(土)～16日(日)
- ②場 所: JR王寺駅、近鉄王寺駅ほか(奈良県王寺町)
- ③主 催: 王寺町観光協会
- ④概 要: 蟹取県ウエルカニキャンペーンや秋の観光情報の発信、新高梨や二十世紀梨加工品などの県産品の販売を行った。

(7) 通天閣「ビリケンさん」に星空舞を奉納

- ①実施日: 令和4年10月22日(土)
- ②場 所: 通天閣5階展望台(大阪市浪速区)
- ③主 催: 関西本部
- ④概 要: 今年3月に幸運の神様「ビリケンさん」に星空舞の種籾3kgを持参し豊作を祈願した。その後、倉吉市関金町内の専用圃場で栽培を行い、収穫した新米を奉納した。なお、収穫した新米は関西でのイベントや県ゆかりのレストランで提供した。

(8) MBSラジオ秋まつり 2022 への出展

- ①実施日: 令和4年11月3日(木・祝)
- ②場 所: 長居公園自由広場(大阪市東住吉区)
- ③主 催: MBSラジオ
- ④概 要: 星空舞や王秋梨、白ねぎ、ブロッコリーなどの旬の農産物、農産加工品などを販売するとともに、蟹取県ウエルカニキャンペーンや秋冬の観光情報を発信した。

(9) 道頓堀リバーフェスティバル 2022 での観光PRの実施

- ①実施日: 令和4年11月12日(土)～13日(日)
- ②場 所: 難波駅前広場(大阪市中央区)、湊町リバープレイス(大阪市浪速区)
- ③主 催: (一社)大阪活性化事業実行委員会
- ④概 要: 大阪ミナミで地元の商店街・企業等が参加して開催された秋の大型イベントに鳥取県内の民間事業者とともに参加し、本格シーズンを迎えた松葉がになどの鳥取の食や自然豊かな観光地・温泉地などをPRするとともに、王秋梨や地ビール、カニ汁など県産品の販売を行った。このイベントは毎年開催されているが今回は新たに大阪・ミナミの一等地である難波駅前広場が会場に加わり、地元住民はもとより国内外の観光客に対しても鳥取県の魅力を紹介することができた。

(10) 通天閣「ビリケンさん」に星空舞の豊作を祈願

- ①実施日: 令和5年3月13日(月)
- ②場 所: 通天閣5階展望台(大阪市浪速区)
- ③主 催: 関西本部
- ④概 要: 幸運の神様「ビリケンさん」に星空舞の種籾を持参し、秋の豊作と一層のブランド力向上を祈願した。当日持参した種籾は県内に持ち帰り、5カ所の専用圃場で星型にして栽培中。なお、秋に収穫した新米は改めてビリケンさんに奉納するとともに、「ビリケンさん星空舞」として県が実施するイベント等で活用する。

(11) 第2回日本観光ショーケース in 大阪・関西への出展

- ①実施日: 令和5年3月24日(金)～26日(日)
- ②場 所: インテックス大阪(大阪市住之江区)
- ③主 催: 日本観光ショーケース in 大阪・関西実行委員会
- ④概 要: 国内外の旅行会社や教育旅行関係者、一般旅行者を対象として開催されたイベントに(公社)鳥取県観光連盟とともに参加し、日本遺産やまんが王国、食などの魅力を発信した。

2 メディア媒体を活用した情報発信の状況

媒体名	掲載・実施日	PR内容
産経新聞(大阪市内版)	4/23(土)	とりキャンの魅力
ウメキタるるっと VISION	4/29(金)～ 5/5(木)	動画による星空舞の紹介
旬刊旅行新聞	5/1(日)	とりキャンの魅力
産経新聞(大阪府北摂版)	5/6(金)	とりキャンの魅力
大阪日日新聞(週刊・日刊)	5/14(土)	鳥取和牛と鳥取迎賓館(鳥取和牛大山不二家本店)
CLasism(クラシズム 2022 夏号)	5/31(火)	鳥取和牛と鳥取迎賓館(鳥取和牛不二家大山本店)
フリーペーパーMamaTabi(2022 夏号)	6/1(水)	オーガニックな県特産品

毎日放送「よんちゃんTV」	6/9(木)	鳥取すいか視聴者プレゼント企画
大阪日日新聞	6/11(土)	県主催イベント告知
週刊大阪日日新聞	6/11(土)	県主催イベント告知
ABCラジオ「ほたるまち発ひろし・あさおのタビラジ！」	6/13(月)	鳥取すいかリスナープレゼント企画
大阪日日新聞	6/16(木)	夏に向けた観光情報
大阪日日新聞、日本海新聞	6/21(火)	県主催イベント告知
大阪日日新聞	6/23(木)	県主催イベント告知、夏に向けた観光情報
大阪日日新聞、日本海新聞	6/24(金)	県主催イベント告知
大阪日日新聞	6/25(土)	県主催イベント告知
週刊大阪日日新聞	6/25(土)	県主催イベント告知
大阪日日新聞、日本海新聞	6/26(日)	県主催イベント実施結果
大阪日日新聞	6/28(火)	県主催イベント実施結果
京都新聞	7/6(水) 7/7(木)	星空舞の読者プレゼント企画
週刊大阪日日新聞	7/9(土)	県主催イベント実施結果
大新社「Pretty オンライン」での女子旅PR動画の配信	7/15(金)～	東部・中部エリアの観光スポットやグルメを紹介
Kiss FM KOBE 「辛坊治郎 SundayKiss」	7/24(日)	「私を鳥取の海に連れてって」をテーマに、辛坊治郎氏が岩美町、鳥取砂丘、八頭町のスポットを巡り、その魅力を番組で紹介。併せて YouTube チャンネル「辛坊の旅」で取材の様子を公開。
スポーツ報知	7/29(金)	ととのうとっとり(鳥取でサウナ)
とりキャン・女子旅PR動画の配信	8/10(水)～	人気さばいどる(サバイバル+アイドル)のかほなん氏が大山エリアでのキャンプや東部・中部の観光地を満喫する様子を動画で配信。
CLasism(クラシズム)2022 秋号	8/31(水)	大山の歴史、文化、食、観光の魅力を紹介
毎日放送「よんちゃんTV」	9/1(木)	二十世紀梨視聴者プレゼント企画
ABCラジオ「ほたるまち発ひろし・あさおのタビラジ！」	9/12(月)	牛骨ラーメン
旬刊旅行新聞	9/21(水)	蟹取県ウェルカニキャンペーン
毎日放送「よんちゃんTV」	9/29(木)	ベニズワイガニ視聴者プレゼント企画
毎日放送「よんちゃんTV」	10/6(木)	星空舞視聴者プレゼント企画
松葉がにPRメディアキャラバン	10/20(木)及び 10/21(金)	松葉がに、蟹取県ウェルカニキャンペーン新聞4社を訪問
毎日放送「よんちゃんTV」	10/27(木)	鳥取和牛視聴者プレゼント企画
産経新聞(大阪市内版)	10/29(土)	蟹取県ウェルカニキャンペーン
神戸新聞(全県版)	10/29(土)	星取県
Meets Regional 12 月号	11/1(火)	鳥取の酒と器
産経新聞(北摂版)	11/5(土)	蟹取県ウェルカニキャンペーン
Meets Regional 別冊	11/8(火)	鳥取の酒と器
京都新聞	11/9(水)	鳥取和牛読者プレゼント企画
ラジオ関西「笑福亭鉄瓶のまんてんラジオ」	11/14(月)	キャンプ飯、アウトドア
週刊大阪日日新聞「ふるさと特集」	11/26(土)	蟹取県ウェルカニキャンペーン
CLasism(クラシズム 2022 年冬号)	11/30(水)	四季の県魚、蟹取県ウェルカニキャンペーン
郵便局「麒麟のまちガイドブック」	12/1(木)	星取県

MBSラジオ「福島のおひろの、金曜 でいいんじゃない？」	12/2(金)	星空舞
週刊大阪日日新聞「おやこ新聞」	12/3(土)	蟹取県ウェルカニキャンペーン
MBSラジオ	11月～12月	星空舞20秒CMを25回放送
MBSラジオ「松井愛のすこ～し愛し て」	12/19(月)～ 12/23(金)	星空舞リスナープレゼント企画
吉本興業 YouTube チャンネルでの鳥 取旅PR動画の配信	12/20(火)～	吉本興業所属の芸人が、鳥取砂丘や賀露港など を巡り、アクティビティ体験や松葉がに等を紹 介
あまから手帖(1月号)	12/23(金)	とうふちくわ特集
読売テレビ「そこまで言って委員会N P」	1/8(日)	松葉がに、鳥取和牛オレイン55、いちご(と っておき)、花御所柿などを紹介
毎日放送「よんチャンTV」	1/12(木)	松葉がに視聴者プレゼント企画
京阪神エルマガジン社「lmaga.jp」	1/1(日・祝) ～1/31(火)	松葉がに読者プレゼント企画
朝日放送「おはよう朝日土曜日です」	2/4(土)	境港、大山の観光スポットとグルメを紹介
ラジオ大阪「平田進也の耳からトラベ ル」	2/4(土)	春夏のSNS映えスポット(浦富海岸)
あまから手帖(3月号)	2/23(木・祝)	鳥取和牛
読売テレビ「ツキいちanna」	2/24(金)	鳥取砂丘、白兔神社、三朝温泉、松葉がに など
CLasism(クラシズム2023春号)	2/28(火)	白兔神社、県内ゆかりのうさぎ情報
フリーペーパー「もちつもたれつ」 (高島屋通販定期DMに同送)	3/6(月)	東部～中部の春季おすすめスポット 鳥取県立美術館の2025年開館予定
eo光チャンネル「たむらけんじのぶっち ゃ～けBar」	3/6(月)から 約2週間放送	白兔神社、鳥取和牛オレイン55、米子城など
フリーペーパー 朝日ファミリーPremium W-Style	3/15(水)～ 3/19(日)	日本遺産「三朝」、倉吉白壁土蔵群

- ◆ 企業版ふるさと納税を通じて、鳥取県の取組に御賛同いただきありがとうございました。
- ◆ 頂いた御寄附を活用し、星取県の認知度及びブランドイメージの向上に向けて以下の取組を実施しました。

1 広告掲載・タイアップ

- (1) 位置情報を活用した高精度のバナー広告（7月1日～9月30日）
 広告表示されたうちの101人が鳥取県へ来県した。
 ※広告配信するターゲットを敷地・建物レベルで指定（例：コニカミノルタプラネタリウム等）でき、そのターゲットがこちらの指定する「来訪があったかどうか知りたい場所（例：鳥取砂丘、さじアストロパーク等）」に実際に訪れたかどうかまで分かる広告。
- (2) 宙フェス公式サイトへの記事広告（～11月30日）
 - ・Vol.1「星空について調査！（さじアストロパーク相本実氏）」（8月31日配信）
 - ・Vol.2「星空の楽しみ方を調査！（柄木孝志氏）」（10月4日配信）
 - ・Vol.3「星空を楽しむ鳥取県のキャンプ事情を調査！（都築法明氏）」（11月9日配信）
- (3) 週刊じゃらんでの記事掲載（1月5日～3月30日）
- (4) 「FRaU（フラウ）」WEB記事にて記事掲載（2月20日～3月19日）
- (5) 令和4年度パブリシティによる星取県発信
 - ・TV及び新聞（2件）…BSよしもと「ワシんとこ・ポスト」、朝日新聞正月特集ページ
 - ・WEB及び雑誌等（8件）…「ダイヤモンド・オンライン」、「JR時刻表」他6件
- (6) 関西圏での電車広告掲載
 - ・京阪電車（京阪本線）の車両ドア上に広告を掲載（4月1日～1月31日）
 - ・阪神電車の車内連結部にステッカー広告を掲載（4月1日～2月9日）
- (7) 星空マップ案内看板の更新（大山恵みの里、琴浦PA、道の駅神話の里白うさぎ）



2 星取県 VR コンテンツのリニューアル

これまで観光誘客を目的に、鳥取県の星空を実際に体験してもらうため、「鳥取砂丘、さじアストロパーク、大山」の星空を紹介するVRコンテンツを、VRゴーグル（OculusGo）で星取県の県外PRイベントなどで活用してきた。令和4年度は「鳥取砂丘（鳥取市）、三朝温泉（三朝町）、鏡ヶ成湿原（江府町）」の鳥取県内3つのエリアの星空、さらには昼間の周辺施設を紹介するコンテンツに更新。（名称：星空採集VR）

- ①夜の星空の360°映像（各エリア：1分間、ナレーション付き）を視聴体験。
 - ②各エリア周辺施設の昼の様子（静止画と一部動画）を360°ウォークスルー体験。
 ※ウォークスルー体験：実際にその場を自由に歩いているような感覚を味わうことのできるバーチャル体験。
- ・鳥取砂丘…馬の背、オアシス、砂丘ヨガ、タカハマカフェ、砂の美術館、アリドドーム
 - ・三朝温泉…三朝橋と河原風呂、すーは一温泉、温泉本通り、バイオリン美術館、馬場の滝
 - ・鏡ヶ成湿原…鏡ヶ成湿原内、木谷沢溪流、御机の茅葺小屋、奥大山ブナの森工場、カフェテリア・アペゼ



3 キャンペーン・イベント

- (1) 「#星取県で流れ星みつけ」キャンペーン（12月27日～2月28日）
 投稿していただいた方の中から抽選で「星（ほし）」に因んだ3つの「し」に関連する商品をプレゼント。
 - ・ハッシュタグ投稿数：561件（内訳 Instagram：178件、Twitter：383件）
 - ・ほし賞の写真は星取県Webカレンダー（2023年）の写真として採用し、星取県公式HPにて公開中（誰でもダウンロード可能）。
 - ・また、作品については令和5年度の夏・秋の星取県イベントで掲示予定。
- (2) イベント出展
 - ・ツーリズム EXPO ジャパンに星取県ブースを出展（9月22日～25日）
 - ・宙フェス TOKYO2022@日本橋に星取県ブースを出展（11月19日～20日）
 ※宙フェス TOKYO（11/19～20、於：東京日本橋）でのVR利用状況
 - イベント2日間で各およそ100名が体験。
 - 当日の体験者の声…「星取県VRが目的で宙フェスに来た」「肉眼でもこんなに見えるのか」「これが求めていた星空」「すごく綺麗、いつか鳥取県で眺めてみたい」



【参考】星取県で楽しめる星空観光メニュー及び星取県コラボ商品

(1) 星取県で楽しめる星空観光メニュー

○さじアストロパーク

星空観察会（月曜日等は休館）を開催。また、本格的な天体望遠鏡つきのコテージがあり一晩中星空観察を楽しめます。（コスモスの館は令和5年4月から休館中。）

○米子市児童文化センター

令和2年6月にプラネタリウムがリニューアル。小さな子どもから大人まで、きれいな星空や楽しい映像番組などが楽しめます。また、月1回大人限定のナイトプラネタリウムや天体観測会も開催しています。（毎週火曜日休館）

○鳥取砂丘での月面宇宙飛行士体験（(株)amulapo）

令和3年11月から一般向けにサービス提供がスタート。毎週土曜日の夜に実施（要予約）。夜の鳥取砂丘で参加者はARグラスを装着し、月面となった砂丘で宇宙飛行士の仕事や月面都市での生活が疑似体験できます。



○大山星空で遊ぶツアー（写真家 柄木孝志氏×大山観光局）

冬場含む月1回以上開催。予約が埋まり満席となる回や海外（香港）からの問合せも多数あります。

○三朝温泉スターウォッチング（三朝温泉観光協会）

4、5月、8月～11月の月・水・金曜日に開催。ガイドによる星の解説付きで、平成30年度からプラネタリウムを導入し、天気に関わらず開催できるようになっています。

上記以外にも多くの星空観光メニューがあります。ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。
→<https://hoshitori.com/activity/>

(2) 星取県コラボ商品も続々と誕生！

星空の美しい「星取県」というイメージを多数の県内企業が商品・サービスに活用していただいております。星取県の情報発信につながっています。

※星取県コラボ商品（飲み物、雑貨、お菓子等） → <https://hoshitori.com/product/>



星取県キャンドル
【春の紬】



星降るブレンド
【澤井珈琲】



CATCH the STAR
TableClock
【(株)ユニバーション】

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対策事業実績

令和5年7月 鳥取県

- ◆企業版ふるさと納税を通じて、鳥取県の取組に御賛同いただきありがとうございました。
- ◆皆さまよりいただいた御寄附は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐための以下の取組に活用しましたので、御報告します。

新型コロナウイルス感染症医療環境整備事業

(1) 事業内容

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、継続して医療提供できる体制を構築するため、個人防護具の購入・配布により医療機関を支援しました。

(2) 事業実績

64,167千円

*財源は、国交付金や企業版・個人版ふるさと納税を活用し実施。

<主な事業実績>

N95マスク (150,000枚)、ガウン (315,500枚)、フェイスシールド (210,000枚)、手袋 (2,200,000枚)、シューズカバー (18,000枚) など



- ◆ 企業版ふるさと納税を通じて、鳥取県の取組に御賛同いただきありがとうございました。
- ◆ 頂いた御寄附を活用し、県土のうち約7割が森という本県の恵まれた環境を活かして、子どもたちの野外活動する機会の確保に向けて以下の取組を実施しましたので御報告いたします。

1 とっとり森・里山等自然保育認証園(森のようちえん)への支援

- 当県では、平成27年度に全国に先駆けて森のようちえんに対する認証制度(「とっとり森・里山等自然保育認証制度」※)を創設し、令和5年4月時点で7園を認証しています。
※1年を通して野外での保育を中心に行う取組を鳥取県があらかじめ設けた基準に基づき「とっとり型自然保育」として認証し、支援を行うことで、鳥取県の豊かな自然を活かして、子どもたちが健やかに育つことを目的とする。
- 認証園に対して、運営費に対する助成及び令和元年10月に開始された国の幼児教育・保育無償化の対象外とされた子どもに対する保育料軽減等の支援を実施しました。
- 豊かな自然の中での子育てを希望し、県外から移住される方も多数存在しているほか、森のようちえんの魅力に惹かれ、我が子を通わせた方が自ら園を開設するなど取組が拡大しています。
・R5年4月時点在園児数:134人(うち移住者24人)

[とっとり森・里山等自然保育認証園一覧(R5年4月時点)]

所在地	園の名称
智頭町(2園)	森のようちえんまるたんぼう(H21開設)、空のしたひろば すぎぼっくり(H24開設)
鳥取市(2園)	鳥取・森のようちえん・風りんりん(H26開設)、認定こども園ぽっか(H28開設)
伯耆町(1園)	森のようちえん michikusa(H26開設)
倉吉市(2園)	自然がっこう旅をする木(H28開設)、キンダガーデン(R3年開設)

[特徴的な取組]

- ◆空のしたひろば すぎぼっくり(智頭町)
「森のようちえんまるたんぼう」の入園希望者の増加に対応するため、移住者を中心に受け入れる2園目の園として誕生。
- ◆鳥取・森のようちえん・風りんりん(鳥取市)
「森のようちえん」の魅力に惹かれ、我が子を通わせた代表者らが自ら設立し、地域の人の協力により森や川や山のフィールドで自然保育を実践。



2 保育所等が行う自然体験活動への支援

(1)「保育所、幼稚園等とっとり自然保育認証制度」の推進及び認証園への支援

- 県の目指す幼児の姿「遊びきる子ども」を目指して、平成29年度に「保育所、幼稚園等とっとり自然保育認証制度」を創設し、令和5年4月時点で39園を認証しています(R4年度 4園を新規認証)。
- 認証を受けた園が県内で自然体験活動を行う場合に、その経費の一部を補助(自然に学び、遊びきれ、とりっこ事業補助金)し、子どもたちの健全育成を図りました(R4年度 計25園が活用)。
- 認証園からは、「自然保育に対する職員の意識が向上した」、「保護者による園の魅力の再発見につながっている」、「補助金により意欲的に活動できるようになった」といった声が寄せられています。

(2)自然保育研修会・安全管理研修会の実施

保護者、保育者等広く県民に幼児期の自然体験活動を周知し、自然保育に向けた機運の醸成を図るための研修会及び自然体験活動に精通した保育従事者を育成するための安全管理に係る研修会を実施しました。

再エネ 100 宣言 RE Action 推進事業の御報告

令和 5 年 7 月 鳥取県

企業版ふるさと納税を通じて、鳥取県の取組にご賛同いただきありがとうございました。
頂いた御寄附を活用し、企業や地域の脱炭素を推進するため、県内企業・商工団体・市町村・金融機関等向けに脱炭素経営の動向や実践手法を解説するセミナーを開催しました。また、省エネ設備導入・太陽光発電設備導入への支援を実施しましたので御報告いたします。

◆セミナー実施内容

(1) CO2 見える化セミナー

【日時】 令和 4 年 7 月 12 日(火) 午後 2 時～3 時 30 分

【内容】 脱炭素を取り巻く国内外の状況、CO2 排出量計算方法、県の支援制度等を紹介

【講師】 アスエネ (株) 岩田 COO

【狙い】 脱炭素経営に向けてまずは現在の排出量を把握する必要がある。

【参加者】 製造業、自治体、団体を中心に 84 名が参加。

【参加者の声】

「脱炭素社会を構築するために必要なことを概要的に理解することができた」「今後の方針や対策を考える良い機会となった」「排出量算定に関する取引先との関係等について理解できた」等、有意義なセミナーだったという声をいただいた。

(2) 事例から学ぶ環境経営の取組み～省エネ・再エネのヒント～

【日時】 令和 4 年 9 月 14 日(水) 午後 2 時～3 時 30 分

【内容】 脱炭素経営の動向、全国の省エネ・再エネの事例、県の支援制度を紹介。

【講師】 省エネ事例：一般社団法人エネルギーマネジメント協会 高田代表理事

自家消費型太陽光発電導入：(株) タシマボーリング 田島代表取締役

PPA 太陽光導入：ごうぎんエナジー(株) 井上営業戦略部副部長

【狙い】 脱炭素経営に向かう企業の増加と、具体的な取組の促進。

【参加者】 製造業、エネルギー関連業、金融業、自治体を中心に 47 名が参加。

【参加者の声】

・「自家消費型の自己所有と PPA の仕組みについて理解できた」「PPA を検討しているので参考になった」「エネルギー高により自家消費型再エネを検討している」との声があった。

(3) 2023 年度へ間に合わせる！脱炭素補助金セミナー

【日時】 令和 5 年 1 月 16 日(月) 午後 2 時～3 時 30 分

【内容】 国の脱炭素関連補助金の解説と申請へのステップ、県の支援制度を紹介。

【講師】 (株) エネルギーソリューションジャパン 田崎代表取締役

【狙い】 来年度から大幅増額される国の脱炭素関連補助金の活用促進。

【参加者】 製造業、エネルギー業、金融業、自治体を中心に 77 名が参加。

【参加者の声】

・「国の補助金の申請に向けて動き出したい」「光熱費激増対策に活かしたい」「取引先に紹介して地域の脱炭素につなげたい」等の声があった。

◆補助金支援

「鳥取県再エネ 100 宣言 RE Action 推進・再エネ活用支援事業補助金」の資金として活用させていただきました。具体的には、2050 年までに使用電力の全量を再生可能エネルギーに転換する全国中小企業イニシアティブ「再エネ 100 宣言 RE Action」に参加する県内企業を対象に、脱炭素を推進する設備導入を支援しました。

【対象者】 県内 4 社（製造業、建設業、水産業、医療機関）

【取組内容】 高効率照明への設備更新、事務所の断熱改修、自家消費型太陽光発電の設備導入等

「【SDGs企業認証】企業版ふるさと納税ティアップ事業」実施の御報告

令和5年7月 鳥取県

- ◆ 企業版ふるさと納税を通じて、鳥取県の取組に御賛同いただきありがとうございました。
- ◆ 御寄附を活用し、県内企業のSDGs経営の取組を促進する事業を実施しましたので、御報告いたします。

1 事業の概要

- 当県では、「とっとりSDGs企業認証」※として、都道府県では全国初となる認証制度を令和4年度より本格運用しており、第1回公募では27社を認証しています。[R4.7]
- ※地域社会や自然環境を持続可能なものとしながら、将来に渡り持続的発展を目指す県内企業の取組を「社会」「経済」「環境」の3側面から評価し、県が認証する制度。企業のSDGs経営を見える化し、県内企業の価値向上に繋げていこうとするもの。
- 認証取得後のSDGs取組強化支援として、認証内容に位置づけられた各種経営課題実現に要する経費を補助金により支援し、さらに、県内企業のSDGsを推進する本施策に共感していただいた寄附を奨励金として補助事業者に追加支給することで取組の加速を図っています。



2 令和4年度の実績

- 認証企業の6社を対象に、SDGs経営に資するアイデア実証や試作、調査等への取組を支援しました。

企業名	事業概要
(株)アサヒメッキ	メッキ処理後の雑排水を再利用可能にする膜ろ過式再生水システムの実証 など
(株)エスマート	トレイ専用回収ボックスの試験設置、回収量とリサイクルルートの試行
(株)エナテクス	BEMS(エネルギー管理システム)設置顧客用クラウドサービスの開発
(株)カンダ技工	SDGsに即した経営ビジョン達成のための人材育成・能力開発事業
ケーエムピー	生産性と環境配慮の両立を目指したアクアポニックス装置※の試作、実証調査
(株)ゼンヤクノー	県内原料を活用した環境配慮型商品の開発及び販路開拓

※アクアポニックス装置…魚の飼育と植物の育成を同時に行う水耕栽培システム

[奨励金を支給した取組の一例]

プロジェクトの概要

Co2の30%削減を目指して店頭でペットボトル、食品トレー回収を推進する。回収の流れを消費者～スーパーマーケット(エスマート)～問屋～メーカーの4者をつなぐ具体的な循環型リサイクルを明確化する。

・4年10月から5店舗に独自の回収ボックスを設置。
・本事業に用いた独自の回収とリサイクルの「見える化」に取り組み中

これまで【一括回収、廃棄業者】
具体的なリサイクル後やCo2削減量が不明

・エスマート本店では透明トレーのCo2削減効果が年228kgで、成木10本が年間に吸収するCo2と同換算量だった。
・ノントレー販売(トレーを使わないラミネートパッケージ)による店内販売なども視野に。

プロジェクトの概要

自社開発した「BEMS」(Building and Energy Management System)をクラウド化し、地域にBEMSを普及させる。地域の脱炭素化の推進を図る。

STEP 1 エネルギー管理システム(BEMS)をクラウド化
-見える化・見える化・自動制御
-ランニングコスト削減

STEP 2 導入例の増加
-建物だけでなく地域全体の集中管理へ

STEP 3 地域の脱炭素化を推進
-社会全体の脱炭素化への貢献

※BEMS:建物内の電力消費量、室内の温度や湿度、外気温など環境データをセンサーによって「見える化」し、照明や空調などの各種設備を最適な運転となるよう制御する省エネシステム

プロジェクトの概要

表面処理での水の再生利用率を上げ、環境負荷低減へ

★表面処理業界での水の再生利用率を向上、水資源を適切に管理することで環境負荷を低減させる。それを実現させる当社の再生水循環システムの高い次元での確立を目指す。

「オロル処理」でステンレスの可能性を広げ、環境保全に

★ごみ問題が懸念されるプラスチックの代替製品のひとつ「ステンレス」を、当社の発色技術「オロル処理」を用いることで、よりサステナビリティ性の高い製品にする。同製品を広めることで環境保全に繋げる。

※オロル処理:ステンレス表面の腐食を防ぐ強い酸化皮膜(不動態膜)を化学的に厚くすることで光の反射度合いを変え、約20色もの発色表現を可能に。ステンレス酸化皮膜の機能制御をすることで、世界で唯一の色調均一化を可能としたステンレス発色技術として特許を取得。
特許番号 6337383号、6326709号、6432107号(6432107号は国際特許取得)

プロジェクトの概要

体験型SDGs教育のツールとして、自社LED照明活用の「アクアポニックス装置」を開発。年代を超えた環境学習を広める。

STEP 1 LED照明活用のアクアポニックス装置を開発

STEP 2 学校や展示施設で体験型SDGs教育を実践

STEP 3 幅広い年代でSDGsの理解が深まる

※アクアポニックス:養殖と水耕栽培を組み合わせ、魚の糞を肥料に水耕栽培をし、植物の力で養殖のための水を浄化する循環型装置。

3 今後の取組

- 当県では、企業のSDGs経営への取組を加速するため、第2回認証申請の公募を行い、令和5年7月中には認証企業を決定する予定です。引き続き、県内企業のSDGs経営を推進し、企業価値向上を後押しして参ります。

- ◆ 企業版ふるさと納税を通じて、鳥取県の取組に御賛同いただきありがとうございました。
- ◆ 御寄附を活用し、県内企業のSDGs経営の取組を促進する事業を実施しましたので、御報告いたします。

1 事業の概要

- 当県では、「とっとりSDGs企業認証」※として、都道府県では全国初となる認証制度を令和4年度より本格運用しており、第1回公募では27社を認証しています。[R4.7]
- ※地域社会や自然環境を持続可能なものとしながら、将来に渡り持続的発展を目指す県内企業の取組を「社会」「経済」「環境」の3側面から評価し、県が認証する制度。企業のSDGs経営が見える化し、県内企業の価値向上に繋げていこうとするもの。
- 認証企業の今後の取組拡大、専門家派遣による支援、認証を目指す事業者の申請サポート、企業間マッチングの場の創出などにより、県内企業におけるSDGs経営の伴走サポートを実施しています。

2 認証企業の一部紹介

大成工業(株) (米子市、建設業)

- ・無放流無電力処理が可能な汚水処理施設を開発し、カーボンニュートラル等にご貢献
- ・地域でのSDGsの普及、地元企業への海外展開支援

美保テクノス(株) (米子市、建設業)

- ・ICT土木の推進などによる環境への負荷軽減
- ・他社とのパートナーシップ連携を重視した事業実施

(株)エヌケーシー(鳥取市、金融保険業)

- ・キャッシュレス化やデジタル化を展開し、地域経済の活性化にご貢献
- ・市と連携したグリーン化等の地域社会貢献

(株)兎ツ兔(鳥取市、農林水産業)

- ・使用燃料の削減や地球温暖化に適応したぶどう品種の開発
- ・地域への需要創出を目指したイベントの開催

3 今後の取組

- 当県では、企業のSDGs経営への取組を加速するため、第2回認証申請の公募を行い、令和5年7月中には認証企業を決定する予定です。引き続き、県内企業のSDGs経営を推進し、企業価値向上を後押しして参ります。

- **県と「隼 Lab.」が連携した起業家育成プログラムとして「TORIGGER(トリガー)」を実施。**
起業家(予定者含む)13人、アクセラレーター(起業支援者)13人の計26人が令和4年7月から5か月間、ベンチャービジネスについて学び、事業プランを構築していくプログラムに参加。起業家が練り上げた事業プランの総まとめとして11/20(土)、隼 Lab.で「ビジネスプラン発表会」を開催。
- **最優秀賞に選ばれたビジネスプランには、次年度に補助制度等を活用していただくなど、事業化に向けた取組を進めていただく。**
※最終選考から漏れた起業プランについても、県内金融機関、商工団体等と連携し、必要に応じた事業化支援を行います。
- **県では隼 Lab.に限らず、今後も県内ビジネス拠点と連携した起業家育成・支援の仕組み構築を継続実施し、県内における起業・新事業のエコシステム醸成を進めていく。**

1 主催 鳥取県 (運営: (株)シーセブンハヤブサ)

2 プログラム概要

鳥取県から革新的なビジネスを創出する起業家等の発掘・育成、そして起業家を支える支援者育成を進めるため、外部講師を招いた座学講義及びビジネスプラン構築アドバイスを7月から約5ヶ月間にわたり実施しました。

(1) 起業家育成プログラム

対象者: 起業・新事業への関心や漠然とした課題意識を持つ経営層、起業関心者、学生 等

内容: 全4回のスタートアップビジネスに関する座学講義 及び プログラム期間中の随時相談対応
(参加者に合わせ、原体験・課題意識の掘り起こし〜プロダクト・プラン構築の過程を支援)

(2) アクセラレーター(起業家を支援するプレイヤー) 育成プログラム

対象者: スタートアップ創出に関するノウハウを学ぶ意志のある金融機関・商工団体職員、士業 等

内容: 全4回のスタートアップ創出に係る座学講義 及び (1)の参加者へのメンタリング対応
(OJT、Off-JTを連動させるプログラムで、スタートアップ支援に必要な資質を向上)

<講師> 井上 豊望己 (いのうえ ともお) トリプルイー株式会社 代表取締役社長

ミネソタ州立大学政治学部卒業。国内数社のベンチャー企業取締役、CFO、海外事業・新規事業統括責任者を歴任。広島県・岡山県を皮切りに、若手経営者向けの経営塾「経洗塾」を主宰。数多くの若手ベンチャー候補生を輩出。広島県運営イノベーション集積拠点 Camps のアクセラレーションプログラム CAP のオープニングアクセラレーターに指名。中国経済産業局と山口銀行が開催するベンチャーアクセラレーションプログラム、アクセラレーター育成プログラム「山口レポリュージュナリズ」を2018年、2019年、2020年と3期連続監修。

3 最優秀賞に選考された主な起業家・経営者

(1) 有限会社村岡オーガニック 村岡 佑基(むらおか ゆうき) (北栄町)【ジャンル:スマート農業】

多品種少量生産農家 向け 生産・販売管理ツール「AGUR (アグル)」

[概要]

- 弟とともに父親から花・野菜苗等の生産を行う農業法人農家を承継し、以降、売上高・従業員数ともに4倍に成長。2020年に開設したYoutubeチャンネル「花農家ゆうきの園芸ガーデニングチャンネル」は登録者数6.5万人を超える。
- 自身が抱える「生産量の増加に伴い事務作業が膨大になっている」という課題から、参入企業の少ない多品種少量生産農家向けの生産・販売管理ツールを自社開発し、自社で実証実験を行った後、全国の同業他社にシステムを販売するという事業プランを策定。現在は具体的なシステムの設計中、来年以降の開発・実証を目指している。



(2) 株式会社吉谷機械製作所 吉谷 勇一郎(よしだに ゆういちろう) (鳥取市)【ジャンル:D2C】

日常の中に防災をプラスし安心を届ける「+S (プラスエス)」

[概要]

- 消防車や消防装備品の製造・販売を行う老舗メーカーの後継ぎ。
- 防災に関わる事業を長年行ってきた自社において、「日常の中に防災をプラスし安心を届ける」をテーマとした新規事業として、遊び心と防災要素を含んだガジェットブランド「+S」を構想。
- ファンコミュニティの形成を軸としたD2Cビジネスとして、具体的なガジェットの検討を進めている。



令和4年度「働きやすい鳥取県づくり推進事業」 実績報告

令和5年7月 鳥取県

皆さまよりいただいた御寄附により、以下のとおり「働きやすい鳥取県づくり推進事業」を実施しましたので、御報告します。

1 専門家派遣

- ・企業からの相談に応じて専門家を派遣（鳥取県社会保険労務士会へ委託）。
- ・専門家派遣実績：109件（就業規則等整備支援102件、若年者技能承継7件／R3実績87件）

【支援事例】

- ・助成金等も活用しながら働きやすい職場づくりに取り組むため、各種制度について教えて欲しい。
- ・働きやすい職場づくりのため、就業規則を整備し、男女共同参画推進企業認定申請を行いたい。

2 「育児・介護休業法改正対応実務セミナー」

令和4年4月及び10月より、「改正育児・休業法」が施行されるのに合わせ、改正事項の具体的な対応方法を理解し、実践していただくためのセミナーを実施するとともに、鳥取県の支援制度の紹介を行った（R4.9.15開催／計99名／オンライン開催）

10月施行目前！
育児・介護休業法
改正対応実務セミナー

日時 令和4年9月15日(木)13:30～15:40
開催方法 オンライン開催(Cisco webex meetings)

参加無料
申込期限 9/8(木)

3 「働きやすい職場づくりセミナー～男性育休推進で働きやすく・選ばれる企業に～」

県内企業の育児休暇取得を促し、働きやすい職場づくりを推進するためのセミナーを実施するとともに、県内企業の事例発表を行った（R4.11.17開催／計57名／オンライン開催）

令和4年度 働きやすい職場づくりセミナー
参加無料/事前申込制

男性育休推進で
働きたい・選ばれる企業に

「改正育児・介護休業法」の施行により、本年10月から「産後/父育休」がスタートしました！
誰もが働きやすい職場づくりを進めるため、男性育休取得促進に関するポイントを解説します。
また、県内企業の働きやすい職場づくりの取組事例もご紹介いたします。

令和4年11月17日(木)13:30～15:20
オンライン開催(Cisco Webex)

4 「就活ハラスメント防止対策セミナー」

社会問題となっている就活ハラスメントをテーマにセミナーを実施した（R5.1.26・30・31開催／計108名）

代表的な2つの就活ハラスメント

就活セクハラ＝（就活セクシュアルハラスメント）
企業の採用担当者等が就職活動中の学生に対して、性的な冗談、性的な誘い、性的な言動等を含んだセクシュアルハラスメント

オワハラ＝（就活終われハラスメント）
企業の採用担当者等が就活中の学生に対して、プレッシャーをかけたたりして、自分の会社に決めることを誘導する行為

就活セクハラ、4人に1人が被害

厚生労働省は就職活動やインターンシップ（就業体験）をした学生の4人に1人が、活動中に何らかのセクハラを受けた経験があるとの調査結果を公表（2024年4月）。厚生労働省による就活中のセクハラ被害は初めてとなります。男女ともほぼ同じ割合で、性別を問わない深刻な被害実態が浮き彫りになりました。厚生労働省は就活中のセクハラ対策の徹底を企業に要請。「被害に遭ったら遠慮なく、各地の労働局や大学などに相談してほしい」と呼びかけています。調査結果によると、少なくとも1回はセクハラを受けた学生は26.5%で、男女別では男性26.0%、女性26.1%。何度も被害を受けた人が全体の3.7%いました。就活セクハラは男女ともに被害が深刻です。

厚生労働省「就活中のハラスメントに関する実態調査」令和2年10月以降
【2022～2023年度卒業年度で就職活動/就職を終えた若年者1,000名を対象とした大規模サンプル調査】

5 働きやすい職場づくり活動支援補助金

県内中小企業者等が、働きやすい職場づくり・生産性向上（働き方改革）に取り組むための基盤づくり、及び従業員の育児・介護休業等取得を機とした業務分担や人員配置など社内体制の見直し並びに生産性向上を図ることに併せた新たな従業員の正規雇用を支援（R4 交付決定：4件）

「星空舞」ブランド化加速事業について

令和5年7月 鳥取県

企業版ふるさと納税を通じて、鳥取県の取組に御賛同いただきありがとうございました。
 いただいた御寄附を活用し、鳥取県オリジナル米「星空舞」のブランド化に向けた様々な取組を実施させていただきますので、御報告します。

○令和4年度に行った主な取組

【県内】

期日	場所	内容
5月～9月	関金町内圃場	ビリケンさんに豊作祈願した種もみで星空舞を栽培（星形田んぼアート）
6/25、26	倉吉市大御堂廃寺	中部発！食のみやこフェスティバルでビリケンさん重量当てクイズや、芸人によるステージ出演で星空舞をPR
7/5～7/7	県内小中学校給食	星空舞ご飯を給食で提供し出前授業を実施（3校）
7/21～7/21	県庁ロビー	七夕飾りやビリケンさん分身像等を県庁ロビーに設置し、星空舞と星しいたけをPR
8/27、3/1	全農とっとり、ハワイアロハホール	五ツ星お米マイスター小池理雄氏を講師に招き、「新品種乱立のなかで求められるお米のニーズについて～星空舞のブランド確立に向けて」をテーマに講演
10/16	バードスタジアム	ガイナール鳥取「星空舞」マッチ開催
3/12	地場産プラザわったいな	「星空舞」と「きぬむすめ」特A取得記念セレモニー
3/3～3/22	県内飲食店64店舗	ごはん大盛・おかわり無料キャンペーン（県庁食堂ほか期間限定で星空舞提供）

【県外】

期日	場所	内容
4/29～5/5	ウメキタルるっと vision	グランフロント大阪北館横のビジョンで星空舞のCM動画放映
5月、9月、10月	東京原宿の認定こども園	五ツ星お米マイスター小池理雄氏指導による星空舞バケツ苗づくり
6/17～6/23	キッチン&マーケットルックア大阪店	星空舞・スイカ購入者へオリジナルグッズプレゼント
6/13～26	JR大阪駅暁の広場	大型スクリーンで星空舞の知事PR動画放映
6/18	JR大阪駅旅立ちの広場	「星空舞」×「鳥取すいか」PRイベント
6/15～7/7	関西・中京圏高島屋7店舗	高島屋にあるおにぎり専門店「古市庵」で星空舞のおにぎりを販売
6月、12月	ミートモリタ屋7店舗（高槻市ほか）	高級スーパー「ミートモリタ屋」の鳥取フェアで星空舞PR販売
7/6～7/7	京都新聞（発行部数35万部）	京都新聞紙面とWeb上で星空舞PR及び読者プレゼント実施
8/1～8/31	首都圏と関西の企業813社	設置型社食「OFFICE DE YASAI」で星空舞おにぎり等無料提供
10/6	毎日放送「よんちゃんTV」	視聴者プレゼントコーナーで星空舞5kgを4名にプレゼント
10/8	羽田空港	鳥取県観光PRイベントで先着200名に星空舞おにぎり無料配布
10/12	首都圏アンテナショップ	「至高の焼肉オンザライス発表会」をメディア向けに開催
10/12～11/1	関西の百貨店8店舗	高島屋大阪店、あべのハルカス近鉄本店、ジェイアール京都伊勢丹などにあるおにぎり専門店「古市庵」で星空舞のおにぎりを販売
10/17～11/5	羽田空港	ANA FESTAで星空舞のおにぎり等を販売
10/22ほか	大阪通天閣	ビリケンさんに「星空舞」奉納。併せて「ビリケン星空舞」を関西でのイベントや県ゆかりのレストラン等で提供。
10/23	天神橋筋商店街いこいの広場	食のみやこ鳥取県・JA鳥取中央ベジタブルフェアで星空舞PR販売
10/24～11/27	東京の稲田屋グループ9店	稲田屋で星空舞を期間限定で提供（おかわり・大盛り無料）
10/25	TOKYO FM ホール	知事や鳥取市出身の女優、瀧本美織さん等が出演する特別番組「とっとり、いいとこどりラジオ」で星空舞をはじめとする県産品をPR
11/3	大阪長居公園自由広場	MBSラジオ秋祭り2022で星空舞販売PR実施
11/25	阪急宝塚駅	宝塚歌劇「星組」公演に合わせて星空舞2合とグッズ500セット配布
11/26	大阪万博記念公園	「万博夜空がアートになる日2022」会場での星空舞ガラポン抽選会
12/2	MBSラジオ「福島のおひろの、金曜でいいんじゃない？」	星空舞ラジオCMと連動し、ラジオ番組に電話出演して星空舞をPR
12/19～12/23	MBSラジオ「松井愛のすこ～し愛して」	星空舞ラジオCMと連動し、ラジオ番組内プレゼントコーナーでPR

【雑誌掲載、テレビ等】

- ・新聞、雑誌：日本海新聞発行「うさぎの耳」のお米特集、ミキハウス子育て総研、宝塚GRAPH、食糧ジャーナル、料理王国、「Happy - Note」新米特集、ESSE 他
- ・ラジオ：MBSラジオ、BSSラジオ、エフエム山陰、東京FM 他
- ・テレビ：在阪局、県内民放3社CM、TVer 他



【ビリケンさん星空舞栽培】



【星空舞の出前授業】



【食味ランキング「特A」取得記念セレモニー】



【大阪駅の大型スクリーンで知事PR 動画放映】



【おにぎり専門店での星空舞のおにぎり販売】



【阪急宝塚駅での星空舞PR】

令和4年度 GIGA スクール実践拡大事業実績

令和5年7月 鳥取県

事業名	事業概要
GIGA スクール実践拡大事業	GIGA スクールの実践を全県に展開するため、ICT 支援員の配備など学校支援体制の充実、STEAM 教育(※)の推進など情報活用能力を高めるための授業改革等の推進、県立学校の通信回線の高速大容量化など通信環境の強化、生徒への貸与用 Wi-Fi ルーターの整備など家庭学習のための通信機器の整備等を実施する。

※STEAM (Science (科学), Technology (技術), Engineering (工学), Art (芸術)、Mathematics (数学)) の領域を総合的に学び、思考力や創造力、表現力を育む学習法

STEAM Lab の整備について

(1) 事業内容

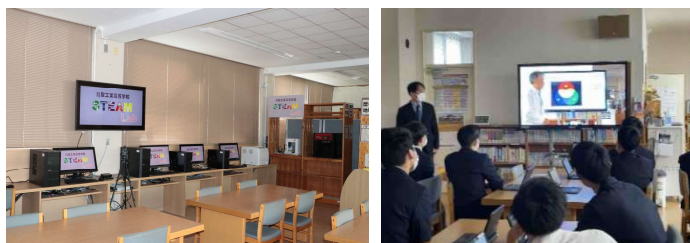
- ・令和3年2月 GIGA スクール構想の実現に向け「鳥取県学校教育情報化推進計画」を策定
- ・柱の1つとして「新たな価値を生み出す創造力の育成」を掲げる
- ・変化の激しい社会で課題を解決していくためには、教科の枠にとらわれず、それらを統合する STEAM 教育をはじめとする教科等横断的な探究学習の推進が必要との観点から、STEAM 教育の拠点として、県立高校に高性能のパソコン等を整備し探究学習に活用する「STEAM Lab」をモデル的に設置し、図書館等とも連携しながら生徒の自由な発想で学びを深める活動を後押しする。

(2) 事業実績

【鳥取工業高校】ものづくり兼プレゼンルームの整備

- 学校図書館内に高性能のパソコン、3D プリンタ、大型モニター、配信機材等を整備

パソコンを使って企業、大学とつながったり、図書館の資料からデータを収集したりして、様々な視点から発想したことを3Dプリンタで形にしたり、画像、動画を作成し発信していく予定(他校との交流学习や教科を横断し生徒が課題を解決するような授業にすでに取り組んでいる。)



【米子南高校】eスポーツをはじめとする STEAM 教育の拠点の整備

- 情報研修室に高性能のゲーミングパソコン、ゲーミングチェア、大型モニター等を整備

e スポーツ部を立ち上げ、生徒の主体的な活動による商店街応援プロジェクト、高齢者の e スポーツ支援等の地域貢献、他校との交流、イベントの企画等を行っている。今後、授業でも高性能パソコンを利用して、探究的な学びにおいて動画編集や画像処理等活用の幅を広げていく予定。

